

- 問1 16世紀のヨーロッパで、カトリック教会の腐敗を批判し、聖書中心の信仰を説いた人物は誰？
- 問2 15世紀から16世紀にかけて、ヨーロッパの人々が未知の海域や大陸を目指して海外へ進出した時代を何という？
- 問3 織田信長や豊臣秀吉の時代に栄えた、豪華で壮大な文化を何という？
- 問4 鉄砲がポルトガル人によって日本に伝えられた時期はいつ？
- 問5 1587年にキリスト教の布教を禁止する法令を出した人物は誰？
- 問6 豊臣秀吉が全国の大名に対し、互いに領地争いをすることを禁じた法令を何という？
- 問7 16世紀半ば、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルなどが所属していたカトリック教団を何という？
- 問8 天正遣欧少年使節を派遣した、九州のキリシタン大名は誰？
- 問9 宗教改革後、キリスト教を広めるために日本へ派遣されたイエズス会の宣教師は誰？
- 問10 安土桃山時代に、質素で静かな美しさを重んじる「わび茶」を大成させた茶人は誰？
- 問11 1492年にスペインの支援を受けて大西洋を横断し、現在のカリブ海諸島に到達した航海者は誰？
- 問12 豊臣秀吉が1590年に征伐し、全国統一を達成する最後の決め手となった関東の大名家を何という？
- 問13 検地によって解体された、中世からの複雑な土地制度を何という？
- 問14 宗教改革において、信仰の唯一の基準として、その教えに立ち返ることを人々に訴えた書物を何という？
- 問15 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？
- 問16 豊臣秀吉が全国を統一するために行った、土地の調査や生産力の把握を目的とした政策を何という？
- 問17 安土桃山時代に、千利休が大成させた、静かな空間で茶を楽しむ様式を何という？
- 問18 室町時代末期、種子島にポルトガル人によって伝来し、日本の戦術を大きく変えた兵器を何という？
- 問19 検地において、土地の生産力を米の収穫量に換算した単位を何という？
- 問20 16世紀のドイツで、カトリック教会が販売していた、罪が許されるという証書を何という？
- 問21 足利義昭が京都から追放され、室町幕府が事実上滅亡した年はいつ？
- 問22 足利義昭が織田信長との対立によって追放された都市はどこ？

答え合わせ・解説

問1	答え マルティン・ルター	ドイツの神学者マルティン・ルターは、これに強く反発し、「信仰のよりどころは教会ではなく聖書にある」と説いて宗教改革の狼煙を上げました。彼は聖書をドイツ語に翻訳し、広く一般の人々が聖書を読むように努めました。
問2	答え 大航海時代	この時代、航海技術の向上により、ポルトガルやスペインなどの国々が世界各地へ航海を行いました。彼らはアフリカ回りや大西洋横断ルートを開拓し、日本を含むアジア地域とも直接的な接触を始めました。
問3	答え 桃山文化	桃山文化は、金箔をふんだんに使用した障壁画や、雄大な城郭建築などが特徴です。狩野永徳などの絵師が活躍し、また茶の湯などの独自の文化も発展しました。非常に華やかで勢いのある文化です。
問4	答え 16世紀半ば	1543年、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲がもたらされました。これは「16世紀半ば」の出来事として日本史の大きな転換点となりました。当時、火薬の原料である硝石などは自国で十分な量を確保できなかったため、南蛮貿易を通じて輸入することが極めて重要でした。
問5	答え 豊臣秀吉	天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、1587年にバテレン追放令を出しました。宣教師に日本からの退去を命じ、キリスト教を事実上禁止することで、国家の支配体制を安定させようとした。
問6	答え 総無事令	秀吉は、自らが天下人であることを内外に認めさせるため、武力で解決することを制限しました。総無事令は、大名間の領地争いを禁止し、違反した者は秀吉の敵と見なすという厳しい内容でした。この法令により、全国の領土問題は秀吉の裁定に委ねられるようになり、平和な近世社会を築くための強力な統治手段となりました。
問7	答え イエズス会	16世紀、大航海時代を経て欧州から宣教師たちが日本へ訪れました。彼らが所属していたイエズス会は、キリスト教の布教を積極的に行いました。その活動は、キリスト教の普及だけでなく、南蛮貿易の窓口ともなりました。のちに豊臣秀吉によるバテレン追放令などの弾圧を受けますが、当時の日本と西洋の文化・経済交流において多大な影響を与えました。
問8	答え 大友宗麟	宗麟らは、宣教師ヴァリニャーノの助言を受けて、1582年に4人の少年をヨーロッパのローマ教皇のもとへ派遣する使節団を組織しました。これが天正遣欧少年使節として知られる歴史的な出来事です。
問9	答え ザビエル	ザビエルはスペイン出身の宣教師で、インドを経て1549年に日本の鹿児島へ到着し、キリスト教を初めて伝えました。当時の日本は戦国時代で、各地の大名も南蛮貿易による利益を求めて宣教師を保護しました。
問10	答え 千利休	千利休は、華やかさよりも質素で内面的な美しさを追求する「わび茶」を大成させました。狭い茶室の中で、主人と客が平等に向き合う精神性を高め、日本独自の茶道の基礎を築きました。
問11	答え コロンブス	コロンブスは地球が丸いという考えに基づき、西回りで大西洋を渡ればインドにたどり着けると主張しました。スペインの女王の支援を得て航海に出た彼は、1492年に現在のカリブ海諸島に到達しました。彼は最期までそこをインドの一部だと信じていたといわれています。
問12	答え 北条氏	豊臣秀吉は天下統一を目指し、全国の名を従わせていきました。1590年、小田原城を拠点に勢力を誇っていた北条氏を討つために大軍を派遣しました。この小田原攻めにより北条氏が滅亡したことで、秀吉による実質的な全国統一が達成されました。この出来事は、戦国時代が名実ともに終わりを告げた象徴的な出来事として歴史に記録されています。
問13	答え 荘園制度	豊臣秀吉は、こうした古い階層的な土地所有関係を否定しました。土地ごとに耕作する農民一人を名主（なぬし）として登録し、その農民が年貢を納める責任を持つ「一地一作人」の原則を打ち立てました。これにより、貴族や寺社の特権的な収益は失われました。
問14	答え 聖書	ルターやカルバンは、信仰の根源は教皇の教えではなく「聖書」にあると説きました。この主張により、一般の人々が聖書を読み、自分たちで教えを解釈する動きが広まり、印刷技術の発達によって翻訳された聖書が広く普及しました。
問15	答え 人間性	ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。
問16	答え 太閤検地	太閤検地では、全国統一の尺度を統一し、土地の面積と収穫量（石高）を調査しました。これにより、年貢を誰からどれだけ徴収すべきかが明確になり、支配体制が強固になりました。あわせて「刀狩」を行い、武士と農民の身分を分離したことで、安定した社会構造を作りました。
問17	答え わび茶	千利休は、限られた道具の中で心の交流を大切にする「わび茶」を完成させました。質素ながらも洗練された美意識は、当時の戦国武将たちの間でも高く評価されました。
問18	答え 鉄砲	鉄砲は、それまでの弓矢や接近戦主体の戦い方とは異なり、訓練次第で誰でも強力な威力を発揮できる画期的な武器でした。日本国内ですぐに模倣生産が始まり、爆発的に普及しました。
問19	答え 石高	豊臣秀吉は検地を行う際、土地を「田・畑・屋敷地」に分け、その土地がどれくらいの米を収穫できるかを調査しました。この「石高」は、単なる収穫量だけでなく、大名が所有する領地の広さや、家臣に与える給与の基準としても使われるようになりました。1石は約180リットル（約150kg）に相当します。
問20	答え 免罪符	ドイツのルターは、信仰の救いは神の慈悲によるものであり、金銭で罪が許されるとする教会のあり方を強く批判しました。この免罪符への疑問が宗教改革の直接のきっかけとなりました。
問21	答え 1573年	しかし、義昭は信長を倒すために諸大名へ協力を求めるなど策を弄したため、ついに信長から追放を受けました。この1573年の出来事により、室町幕府は実質的に滅亡しました。
問22	答え 京都	足利義昭は、織田信長を頼って京都に入り、幕府の再興を目指しました。しかし、信長の強大な権力を前に、義昭は傀儡（かいらい）であることを拒み、両者の関係は決定的に悪化しました。結果として、義昭は京都から追放されることとなりました。